
第 5 回ワークショップについて
社会実験の実施に向けた勉強会

次 第

- 柏原駅東地区のまちづくりについて
- 施策の方向性（案）
- 社会実験の位置づけ
- 今まで実施した社会実験の紹介
- R7年度 社会実験・トライアルサウンディング（案）

■ 柏原駅東地区のまちづくりについて

まちづくり基本構想

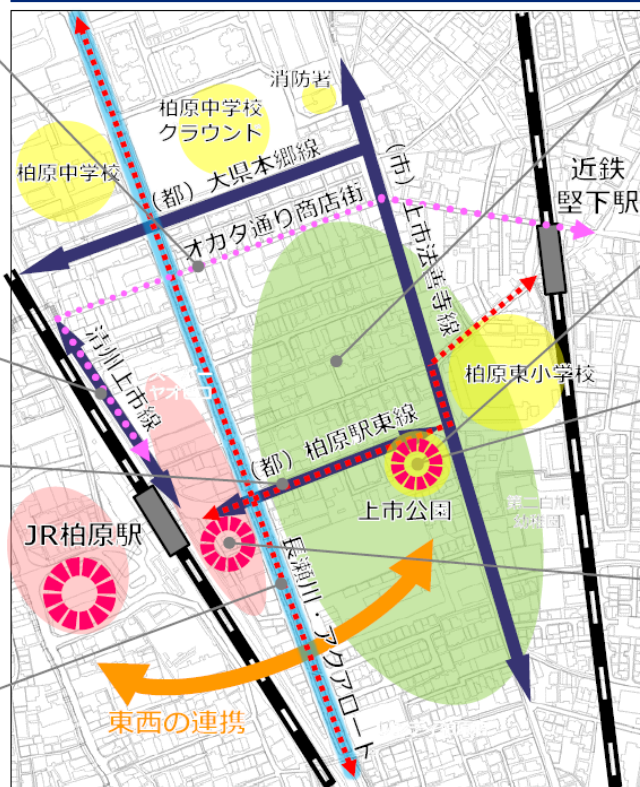
■ みんなが将来像を共有し協働でまちづくりを行うための指針を策定

<テーマ>

都市のにぎわいとうるおいを活かしたまちづくり

商店街
→ 買い物客等が歩きやすい歩行者空間の整備
→ 地区内の滞留・回遊性の向上
→ 地域に密着した商店街の活性化
→ 空き店舗等の活用検討
→ 踏切の安全対策の実施
道路ネットワーク
→ 都市計画道路の整備による既存の道路ネットワーク強化
→ 誰もが安全で快適に利用できる道路環境の形成
→ 駅周辺の交通利便性向上を図るための道路網の検討
歩行者動線
→ ゆとりある歩行者空間の整備
→ 通過型から滞在型の道路空間への転換
→ 歩道的美装化や無電柱化の検討
長瀬川・アクアロード
→ 既存施設の改修、休憩スポットの整備による環境整備の実施
→ 植栽等による美しく魅力的な景観形成
→ 水辺空間を活かしたイベントの開催を検討

柏原駅東地区まちづくり基本構想の策定



住宅地・住環境
→ 防災空間の確保等、安全で快適に暮らせる住環境の形成
→ 空き家の解消、住宅ストックの耐震化等の推進
→ 人々の交流や日常生活を支える充実したコミュニティの形成
上市公園
→ 市民文化センターと一体的な活用・整備によるにぎわい創出と景観づくり
市民文化センター
→ 耐震・長寿命化工事の推進
→ 市民交流が可能な施設への転換(立ち寄りやすいオープンな施設)
JR柏原駅東口
→ 駅前広場やアクセス道路の整備の検討
→ 交通結節機能の充実、公共交通の利便性向上
→ 多くの人が集うことができる空間形成
→ 柏原駅東エリアと西エリアのにぎわいの連携強化

■ 施策の方針（案）

まちづくり基本構想、現時点で検討しているまちづくり施策・事業（案）は以下のとおりです。今後、ワークショップや社会実験、トライアルサウンディング調査の結果を踏まえて多様な主体が連携した取組の推進を検討します。

まちづくりの整備方針	
道路・交通整備	<p>安全で快適な道路環境整備 - --①</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 多くの人や交通が集中する駅周辺の道路においては、ユニバーサルデザインの視点に立ち、誰もが安全で快適に利用できる道路環境の形成を目指します。 ■ 柏原駅東口や商店街へのアクセスとなる踏切の安全対策を図ります。 ■ 歩きやすい道路に向けた歩行空間の確保や交通安全性の向上を図ります。 <p>駅前の交通結節拠点の機能強化 - --②</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄道とバス、タクシー、送迎車等の乗り換えの利便性や安全性の向上を図るため、駅前広場や駅へのアクセス道路の整備を図ります。 ■ 持続可能な公共交通機能の確保を目指して、交通結節機能の充実、地域の公共交通の利便性向上を図ります。 <p>道路ネットワークの構築 - --③</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 都市計画道路の整備を進め、既存の道路ネットワークの強化を図ります
にぎわい空間の整備方針	<p>にぎわい拠点の整備 - --①</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 柏原駅東口の駅前広場は、人が集うことができる空間形成を目指します。 ■ 柏原市民文化センターについては、耐震化・長寿命化整備に合わせ、市民交流が可能な立ち寄りやすいオープンな施設を目指します。 ■ 柏原駅と堅下駅の乗り換え動線をゆとりある歩行空間に整備することにより、通過型から滞在型の道路空間への転換を検討します。 <p>中心市街地の活性化 - --②</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地区内の滞留・回遊性の向上を図り、駅前からつながる地域に密着した商店街等の活性化を図ります。 ■ 柏原駅東側と西側のエリアが一体となった中心拠点の形成に向け、東西市街地の連携強化を見据えたまちづくりを推進します。 <p>公民連携・地域主体のまちづくり - --③</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域主体のまちづくりに向け、地域のまちづくり活動の支援を図ります。 ■ 公民連携・地域住民が主体となったエリアマネジメントの普及促進を図るため、まちづくりワークショップの開催など、住民の意見を尊重したまちづくりを推進します。
住環境整備の方針	<p>良好な住環境の形成 - --①</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 空き家・空き地等の利活用を促進するとともに住宅ストックの耐震化や防災空間の確保を推進し、誰もが安全で快適に暮らせる住環境の維持・向上に努めます。 ■ 駅前空間の整備に合わせ、駅周辺の歩道的美装化や無電柱化の検討を行います。 ■ 都市緑化の向上を図るため、道路や公園等の公共空間における緑化の創出に努めます。 <p>水辺空間などを生かした環境整備 - --②</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 上市公園については、市民文化センターとの一体的な整備による快適な空間整備に取り組みます。 ■ 長瀬川の環境整備、美しい景観形成に向け、既存施設の改修や休憩スポットの設置、植栽の検討のほか、イベントの開催などを検討します。 <p>地域コミュニティの活性化 - --③</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の自主的な活動などを通じて、住民の結びつきを促進し、人々の交流や日常生活を支える充実したコミュニティの形成を促進します。

ワークショップ
社会実験
トライアルサウンディング

施策・事業（案）

ハード（整備）

1. JR柏原駅東駅前拠点の整備検討②①②③
2. (都) 柏原駅東線の整備の推進①③①
3. (都) 法善寺築留線（(市) 上市法善寺線）の整備の推進①③①
4. 柏原市民文化センター長寿命化改修工事の推進①②
5. 旧ハローワーク及びかしわらっ子はぐくみセンターの利活用の検討③③
6. JR柏原駅西口の未利用地の活用検討③
7. 水辺空間の再整備の検討①②③
8. 防災施設の設置検討①
9. 地区内移動手段の検討②

ソフト（制度や環境づくり）

10. 安全・円滑な地域交通環境の構築の検討①②
11. 校庭スペースの利活用の検討①③
12. 空き店舗の利活用を促す仕組みづくり③①
13. オガタ通り商店街、大正通り商店街、長瀬川・アクアロードの歩行者専用化の検討②③
14. 水辺空間、JR柏原駅と近鉄堅下駅の乗り換え動線の歩行者滞在性向上に向けた活用の促進②③①②③
15. 地域と連携した情報発信の仕組みづくり③③

■ 施策の方針図 (案)

5.旧ハローワーク及びかしわらっ子はぐみセンターの利活用の検討

- 民間活力による利活用のための調査や勉強会を行い、利活用の検討を行います。

11.校庭スペースの利活用の検討

- 柏原東小学校、柏原中学校、柏原小学校のグラウンドなどで校庭利用の市民予約制度の導入やグラウンド利用マナー・ルールブックの作成を行い、地域に開かれた学校の活用方法を検討します。また、活用を通して、中長期的な地域交流・防災・にぎわい機能の導入を見据えた公有地の在り方を検討します。

15.地域と連携した情報発信の仕組みづくり

- 地域住民の活動や文化、自然・歴史資源を、住民自身が“発信者”となって紹介する仕組みづくり。情報発信スキル講座や、地域リーダーの育成を行うと共に、情報発信の場や手法の検討を行います。

13.オガタ通り商店街、大正通り商店街、長瀬川・アクアロードの歩行者専用化の検討

- 歩行者専用化の検討を行うとともに、民地のオープンスペース化（広場化、ベンチの設置等）や建物低層部のオープン化（ガラス張り化等）を促進します。また、自転車利用者に配慮した駐輪スペースの確保も検討します。

10.安全・円滑な地域交通環境の構築の検討

- 清洲上市線・(都)大県本郷線・(市)上市法善寺線・(都)柏原駅東線間の一方通行の環状自動車動線の検討をJR関西線西一番踏切の自動車全面通行止め等も踏まえて行います。

3.(都)法善寺築留線((市)上市法善寺線)の整備の推進

- 柏原市地域防災計画における医療救護活動の拠点となる市立柏原病院、指定避難所となる柏原東小学校と柏原市民文化センターへの緊急交通路である上市法善寺線の整備を促進し、地域の安全性向上を図ります。

12.空き店舗の利活用を促す仕組みづくり

- 官民協働による空き店舗を活用する仕組みづくりを行うことで、交流拠点機能や買い物機能の強化を図ります。

9.地区内移動手段の検討

- 既存のシェアサイクルの利用増進のため、柏原駅やメインとなる施設へポートの設置を検討します。また、サイクリングルートの検討を行い、サイクリングルートの施設の整備検討、地区内の車以外の移動の強化を図ります。

6.JR柏原駅西口の未利用地の活用検討

- 未利用の公共空間を改修や暫定利用を検討することでにぎわいのある場づくりを推進します。

2.(都)柏原駅東線の整備の推進

- 地域の利便性、活性化及び災害に強いまちづくりを行うため、JR柏原駅東側の交通広場を含むアクセス道路の整備を促進します。

4.柏原市民文化センター長寿化改修工事の推進

- 柏原市民文化センターは、長寿化改修工事を実施し、耐震補強による安全性の向上を図るとともに、建物機能及び利便性を向上させ、当該施設を「地域(まち)に開かれる生涯学習の拠点」に相応しい施設になるよう、隣接する上市公園などの周辺環境を活かし、整備を進めます。

1.JR柏原駅東口駅前拠点の整備検討

- 鉄道とバス、タクシー、送迎車等の乗り換えの利便性や安全性の向上を図るため、交通結節点としてのロータリーや一時駐車・駐輪スペース等の整備を検討します。
- 駅とまちをつなぐ空間として、駅構内の公共空間でまちの情報が集まる交流スペースの整備を検討します。

14.水辺空間、JR柏原駅と近鉄堅下駅の乗換動線の歩行者滞在性向上に向けた活用の促進

- 露店・キッチンカーなど軽飲食販売のしやすい仕組みづくり(仮設営業許可や出店ルールの簡素化を検討)や、公認路上ライブや路上パフォーマンズ(大道芸・演奏など)の登録制度の検討を行い、日常的なにぎわいの創出を図ります。

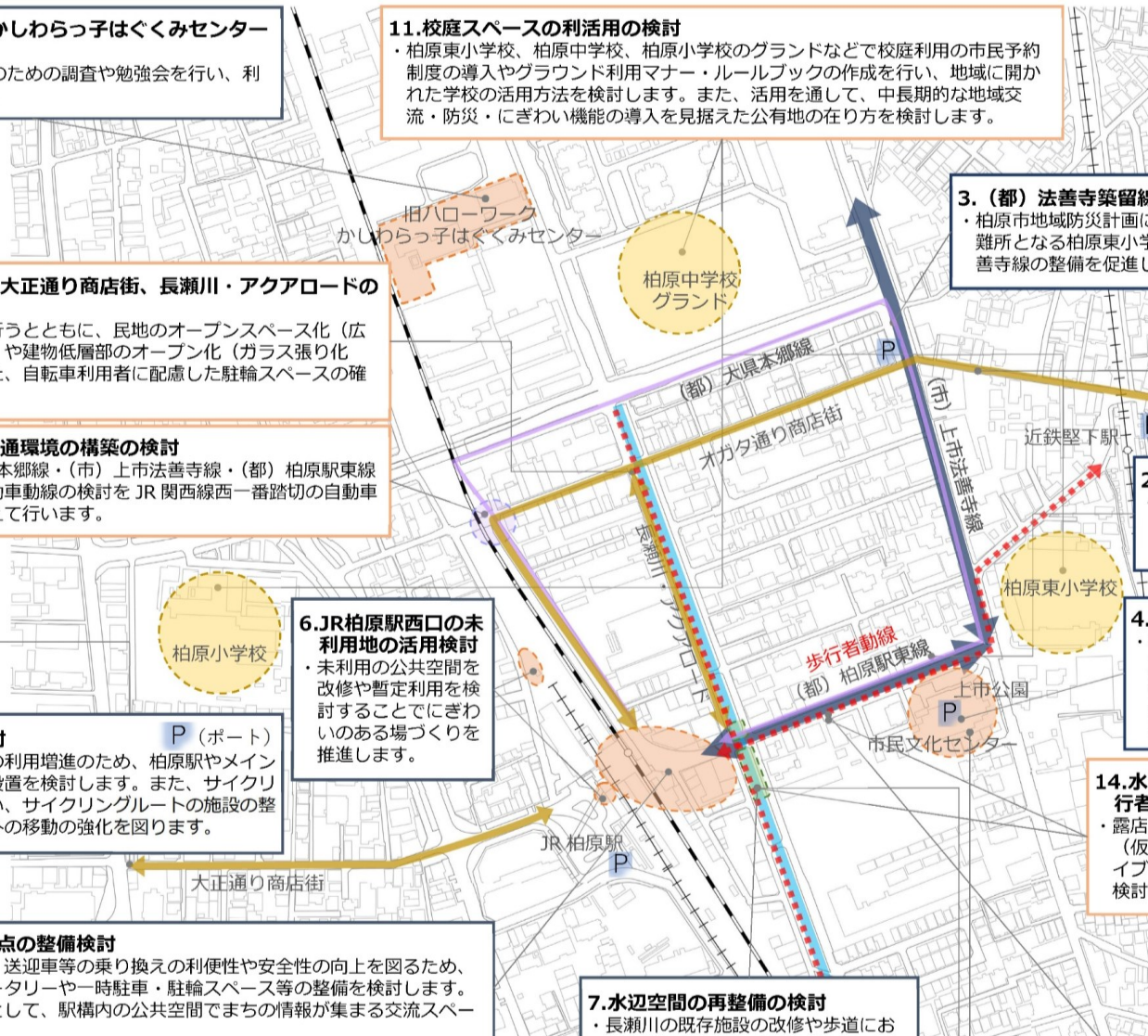
7.水辺空間の再整備の検討

- 長瀬川の既存施設の改修や歩道における舗装の改修、休憩スポットの設置、柏原市らしい植栽(こてがしわ、つつじ、ぶどう)の設置、長瀬川を一部暗渠化すること等による広場空間の創出を検討します。

8.防災施設の設置検討

- トイレやかまどなどの防災機能を持ったベンチの設置、無電柱化の検討を行うことによって、災害時の市民生活における安心、安全の向上を図ります。

0 100 200 300 m



■ 社会実験の位置づけ

柏原駅東地区まちづくり基本構想

ワークショップ

理想の暮らしの
シーンの試行

公共空間の
試験的活用

本日の
内容

社会実験

地域の
イベント

事業者

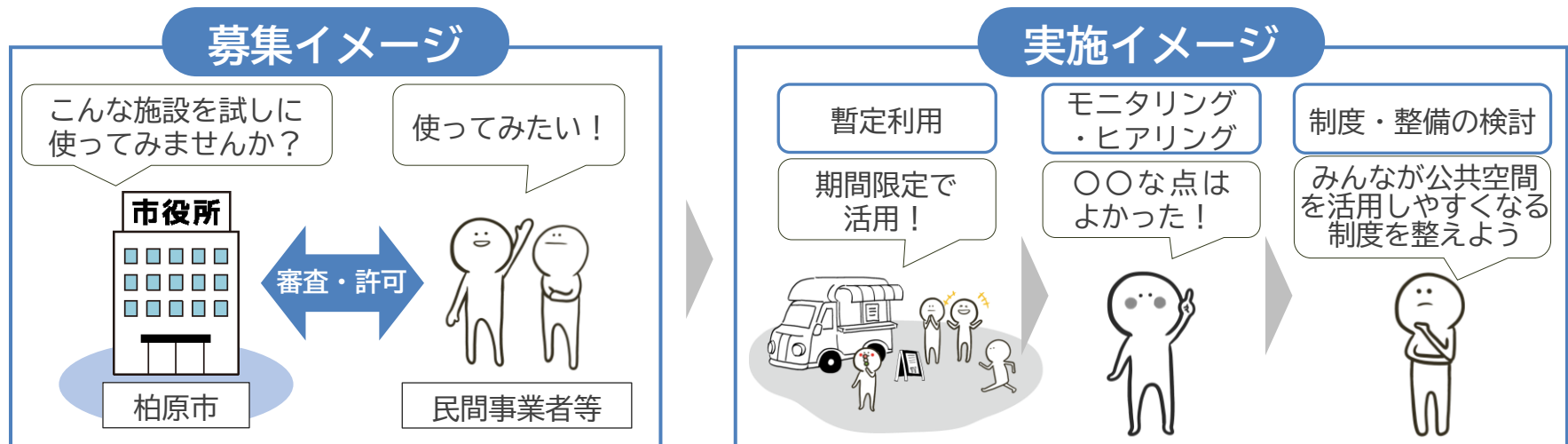
トライアル
サウンディング

施策の検討

■ トライアルサウンディングとは

トライアルサウンディングとは？

- 市が保有する公共施設等の暫定利用を希望する民間事業者を募集し、一定期間、実際に使用してもらうことで施設の利用可能性を検討する取り組み
- 実施することで、民間事業者の事業集客力、信用、施設との相性などを確認することができ、民間事業者は、立地、使い勝手、採算性などを確認することができる



■ トライアルサウンディングとは

今年度の実施スケジュール

日程	内容
令和7年9月下旬	実施要項の策定・公表
令和7年9月下旬～12月25日	トライアル・サウンディング事業者募集
令和7年10月～12月25日	トライアル・サウンディングの実施

対象施設(予定)

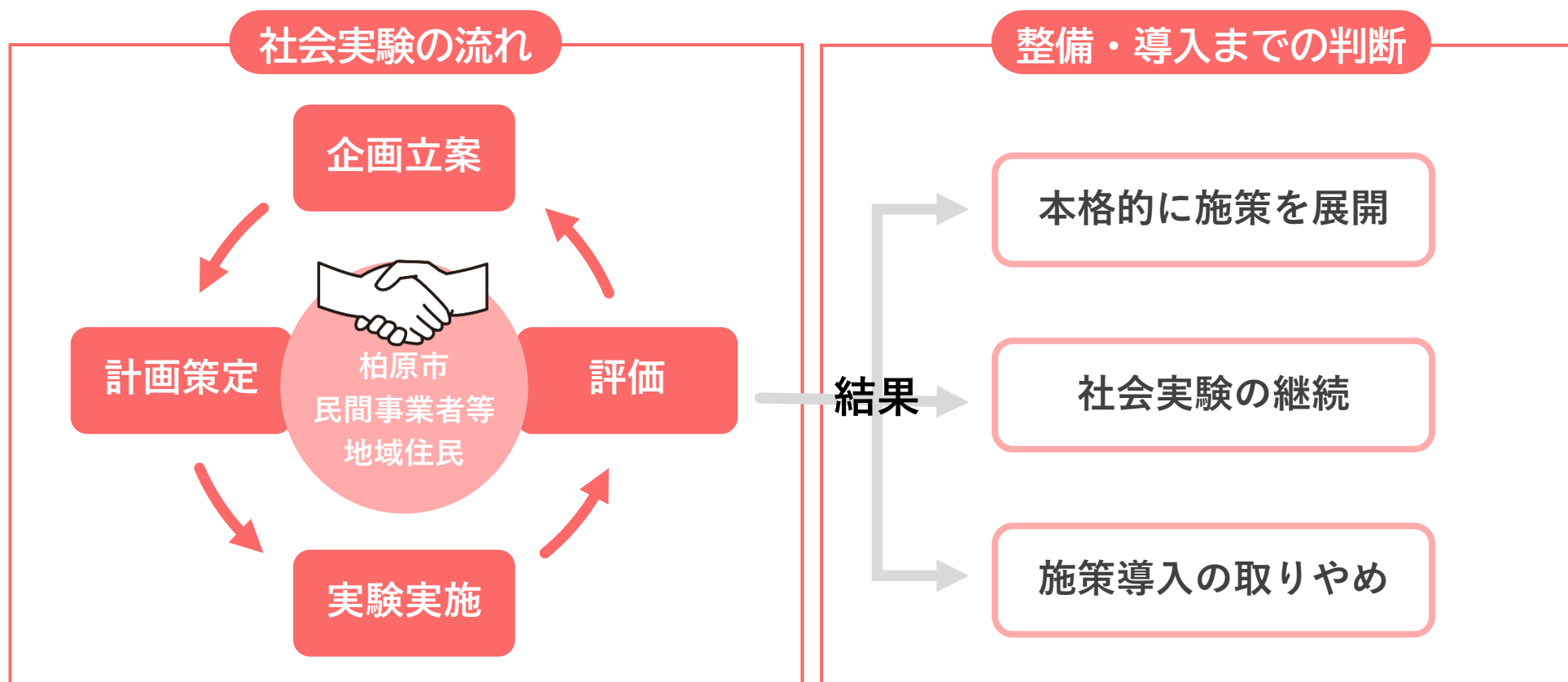
- (1) JR柏原駅構内 2階コンコース
- (2) JR柏原駅西口 1階 (旧市民サービスコーナー)
- (3) 柏原駅西口臨時駐輪場
- (4) アクアロードかしわら (あずまや・親水テラス)
- (5) 上市法善寺線歩道併設広場

※実施場所については、今後変更する可能性があります。

■ 社会実験とは

社会実験とは？

- 新しい制度や技術を社会に導入する前に、場所や期間を限定して地域の方々とともに試行する取組



■ R6 年度上市公園 社会実験について

社会実験名称：「**ライブラリーガーデン in 上市公園**」

- 2024年11月10日日曜日（10:00~16:00）に開催
- 『をかしわらマルシェ』、『清州フェス+1』も合同で開催
- 柏原駅周辺のまちづくりとして、中心となる公園のあり方を検討するために実施

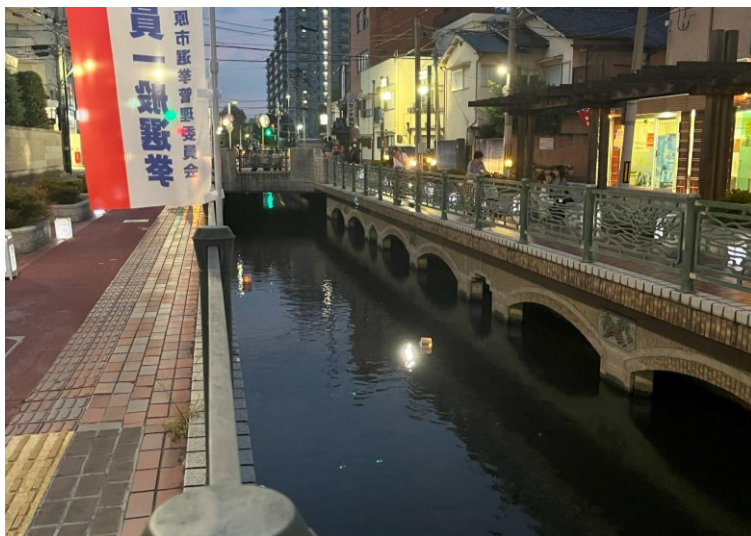


■ R6年度上市公園 社会実験について



社会実験名称：「RIVERSIDE FESTIVAL 2025 KASHIWARA灯籠流し」

- 2025年8月23日土曜日（16:00~21:00）に開催
- 主催は『チームリバフェス・プロジェクト』であり、柏原市は協働として参画し社会実験を実施、その他にも様々な団体が協力して開催
- 水辺空間の活用方法を検討するために実施



■ R7年度8月アクアロード柏原・長瀬川 灯籠流し×社会実験について



実施詳細

- **2025年11月16日 日曜日**（日中）に開催予定
- 柏原駅東地区まちづくり実行委員会企画の『清州フェス+1』と協働で開催予定
- 社会実験の目的については、柏原駅東口の拠点として広場及びロータリーの整備・活用検討（内容については、ワークショップの意見を反映）

清州フェス
+1
プラスワン



社会実験 方針図

社会実験の実施の方向性は以下の図の通り

物販・マルシェ等の
飲食空間の提供



情報発信の場
の提供



駅前空間の
導入機能の検討



水辺空間での
過ごし方の試行



商店街の
エントランスとなる
パブリックスペースの活用



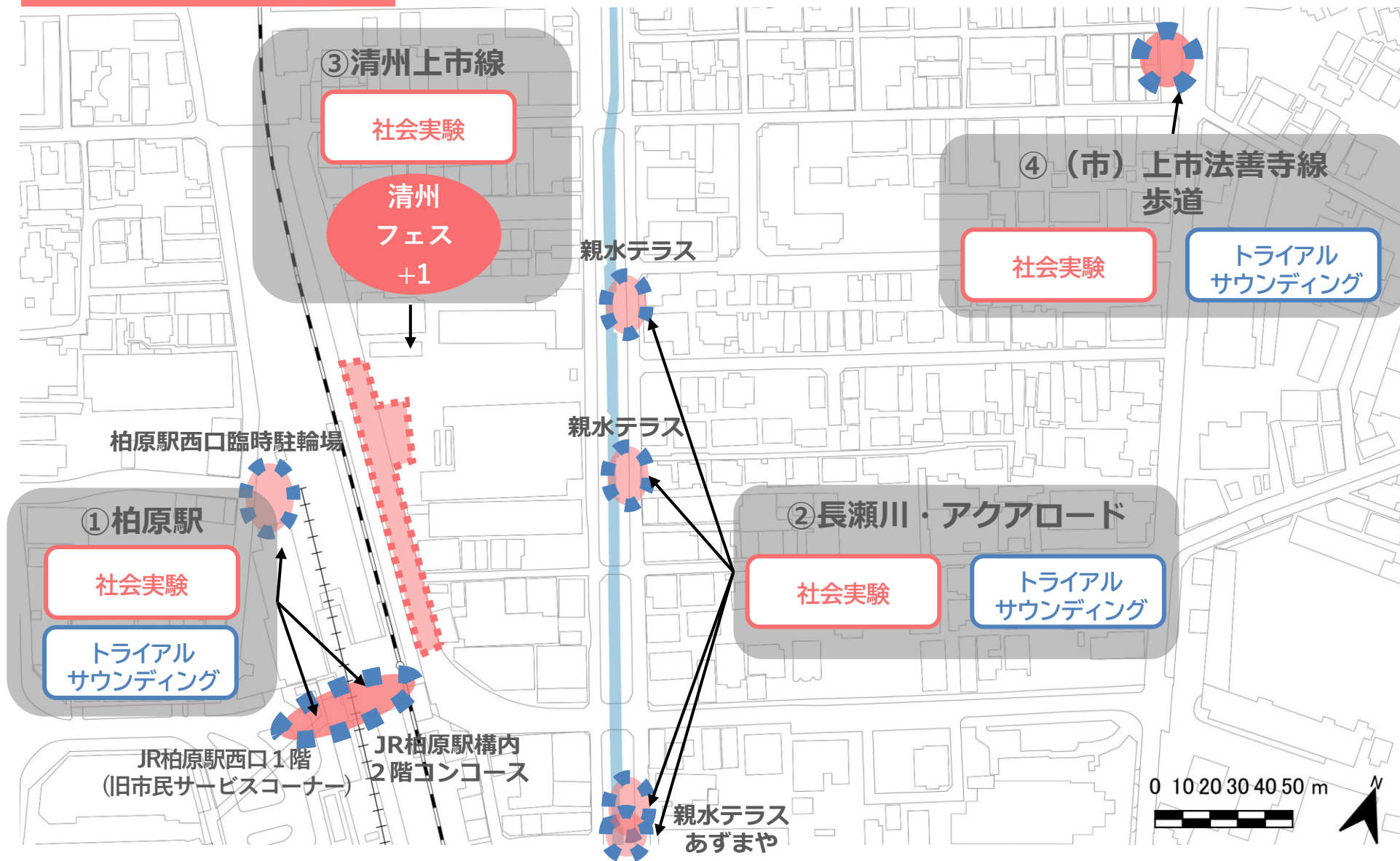
滞在型
道路空間の活用
実験



■ R7年度11月社会実験（案）

全体図

計4箇所社会実験・トライアルサウンディングの実施を検討中



社会実験・トライアルサウンディング（案）

■次のページから、以下の順で説明する

柏原駅周辺の活用場所



施策・理想の暮らしのシーン・ワークショップで出た意見



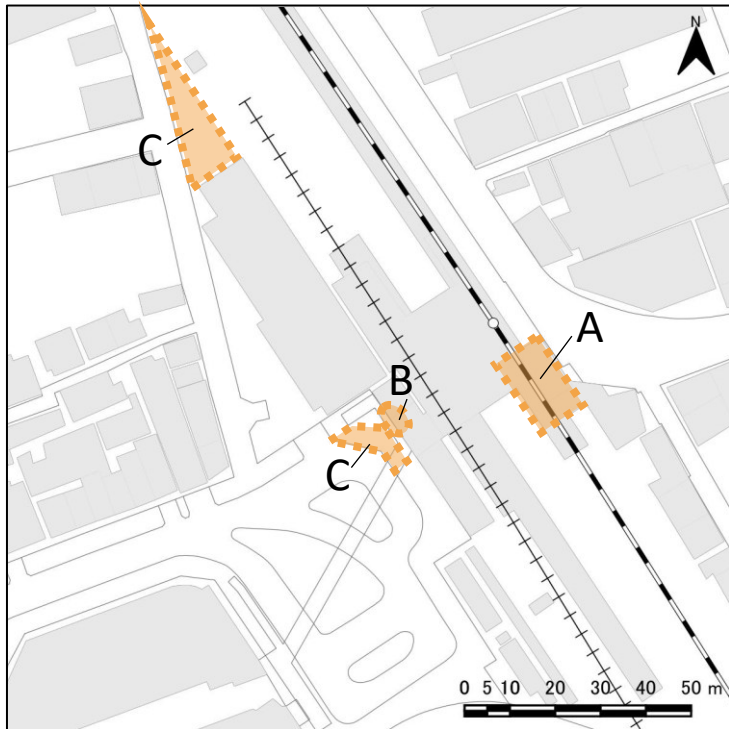
社会実験・トライアルサウンディング（案）

目的・方向性・想定する実施内容
検証方法・検証後の活用方法

他都市の事例や活用イメージ

■R7年度 社会実験・トライアルサウンディング（案）

① 柏原駅周辺




施策

- ・JR柏原駅東口駅前拠点の整備検討
- ・JR柏原駅西口の未利用地の活用検討

概要

- ・駅とまちをつなぐ空間として、駅構内の公共空間におけるまちの情報が集まる交流スペースの整備を検討する
- ・未利用の公共空間を改修や暫定利用を検討することでにぎわいのある場づくりを推進します。

	自然と共に 時間を使いたい人	色々な人をつなぐ	公立の中学校に通う 中学生（帰宅部）
理想の暮らしのシーン	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩道を活用するフリーマーケット ● 照明ボールにフラッグを設置 ● 音楽でにぎわいを創出帰りに居合わせた人たちと水辺やまちなかで乾杯 ● 季節にあったイベント ● 地元の方の野菜などを販売する棚の設置 ● レンタサイクルの普及 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常柏原駅で各団体会議をしている ● 興味がある方々が集まって、みんなで議論をする ● 情報が集まる場 ● 柏原駅前のおしゃれな市のレンタルスペース（カフェ）英語に触れられるイベント（国際交流の場） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 放課後に友達と夜まで話している。学生なのでお金はなく、カフェには入れないため、コミュニティができる場所がある 

A：JR柏原駅構内2階コンコース

- ・観光案内所
レンタサイクルの案内/ツアー案内/市内イベントの総合案内所/地元の物産販売
- ・電車発着時間の掲示
電光掲示板+屋根付き休憩所
- ・テナント
飲食店、BAR、体操教室
- ・展示会場
- ・一部芝生広場化

B：柏原駅西口1階旧行政窓口

- ・イベントスペース
演奏やダンス等のパフォーマンス、駅中ピアノ/ハンドメイド・食品等の販売、ポップアップ店舗、ワゴン屋台
- ・かしわらの観光宣伝
亀の瀬にまつわるものの展示or販売
- ・市民活動の情報共有・情報コーナー+いす
- ・市民のくつろぎの場
仕事や勉強ができる空間/ライブラリーと椅子・机/椅子・机のある休憩スペース

C：柏原駅西口未利用地

- ・芝生広場やチョークアートのできる広場
高齢者や子どもの遊び場
- ・イベントスペース
四季のイベント（七夕、クリスマス、正月など）
焚火イベント+ベンチの設置（夜の時間帯も活かす）
例）大阪本町で焚き火を囲むイベントがあった
- ・柏原駅東線～自由通路～西口広場も含めた夜間のイベント
連続した主要な都市空間の活用になり、市民にも伝わりやすい

WSの意見

■R7年度 社会実験・トライアルサウンディング（案）

項目	内容		
目的 何のために 行うか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前に点在する未利用空間（構内、屋内、屋外）を暫定的に利活用し、駅前拠点整備に向けた機能的・空間的な可能性を検証する ・ 柏原駅を情報発信・交流拠点として捉え、整備の方向性や運用モデルの検討材料を収集する 		
方向性 社会実験で 目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空間別に多様な用途で実践し、拠点として必要な機能や配置の方向性を可視化する →行政情報発信・交流の場（駅構内）、観光案内・地域物産販売などの場（元行政窓口）、にぎわい・イベント・休憩の場（屋外未利用地） ・ 駅前や駅周辺の未利用空間の将来的な整備・活用に向けた判断材料を収集する ・ 各空間の特性を活かしつつ、駅全体で面的に「まちの顔」となる拠点づくりを試行する 		
想定する 実施内容	【柏原駅構内2階コンコース】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政/地域/交流情報の掲示や配架棚の設置と、ベンチやテーブルなど回覧スペースの設置 ・ 交流の場としてのきっかけづくりを行うため、軽飲食の販売等やピアノの設置 	【柏原駅西口1階旧行政窓口】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光案内所の設置（イベント・レンタサイクル・ツアー案内など） ・ 地元物産販売 ・ まち歩きの導入部の拠点に向けたまち歩きマップ（イベント間での集会を図るスタンプラリーなど）の配架 ・ 簡易ベンチ・テーブルで滞在できる空間の創出 	【柏原駅西口未利用地】 <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントスペースとしての利活用（季節イベント・チョークアート・焚火イベントなど） ・ ベンチやテーブル、芝生などの休養施設の設置 ・ 夜間活用の試行（ライトアップ・提灯・イルミネーションなど）
検証方法	<p>[定量的手法]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①時間帯別利用者数の計測 ②配布物の減少数（持ち帰りの多さ） <p>[定性的手法]</p> <ol style="list-style-type: none"> ③利用者の行動観察（立ち止まり／着席など） ④アンケート（シール形式／QRコード）による意見収集（利用満足度・希望する活用内容・整備への期待などの聴取） ⑤駅管理者へのヒアリング 		
検証後の 活用方法	<ol style="list-style-type: none"> ①③④駅前広場等の恒常整備に向けた機能配置・空間設計の検討 ②④情報発信や観光機能の常設的整備の判断 ④⑤民間活用・地域団体との連携運用の可能性整理 		

① 柏原駅周辺

A：JR柏原駅構内2階コンコース



B：JR柏原駅西口1階（旧市民サービスコーナー）



事例：駅の改札前自由通路の活用事例

- JR宇治駅2階自由通路（改札前）
山城マルシェ in JR宇治駅
・京やましる産の食材を販売

- 中百舌鳥駅構内スペース
・駅支援業務の実施を条件とした駅構内スペースにおける物販出店

- 用賀駅構内スペース
・地域の情報発信・交流スペース
・池尻大橋エリア 風景写真展など

事例：駅前広場の活用事例

- 南海なんば駅前空間
・滞在快適性向上社会実験
・観光案内



出典：Meet something new Michi-no-Eki HP
宇治駅で市場開催！山城マルシェにGO
<https://michisuru.jp/%E3%81%B2%E3%81%A8%E3%81%97%E3%82%8B%E2%91%A1/2469.html>
その他、新白岡駅（埼玉県）にて社会実験が実施されている。

出典：南海電気鉄道株式会社HP中百舌鳥駅での地域活性化
<https://www.nankai.co.jp/sustainability/materiality/02community/ekikyoten>

出典：東急鉄株株式会社HP 駅の未活用空間を活用した、5駅の地域とつながる新たなスペース「GUG Lab.」が用賀駅構内地下1階コンコースに2024年7月17日（水）にオープン！
<https://www.tokyu.co.jp/company/information/detail/53991.html>

出典：なんば広場マネジメント法人設立準備委員会HP
2021年「なんば広場改造計画」の記録
<https://www.namba-hiroba.jp/about/experiment2021/>

① 柏原駅周辺

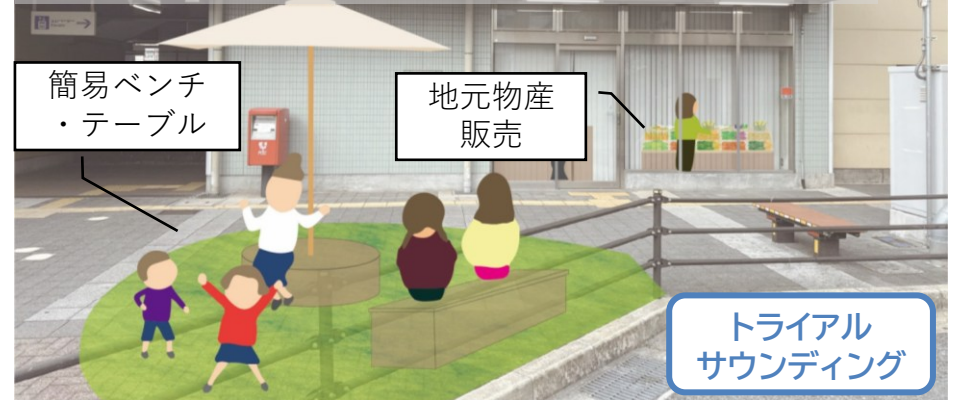
A：JR柏原駅構内2階コンコース

交流の場としてのきっかけづくりを行うため、軽飲食の販売等やピアノの設置



B：JR柏原駅西口1階（旧市民サービスコーナー）

・地元物産販売やまち歩きマップなどの観光情報の配架
・簡易ベンチ・テーブルで滞在空間の創出



行政/地域/交流情報の掲示や配架棚の設置と、ベンチやテーブルなど回覧スペースの設置



①柏原駅周辺

C：柏原駅西口臨時駐輪場



事例：堺東駅前広場における交流空間の創出に向けた社会実験

- ・ パターゴルフコーナーや絵本の読書スペース等の遊び場ゾーン設置
- ・ ジョルノ専門店による青果市や物販、飲食、テイクアウト等の実施
- ・ 休憩スペースの設置



出典：堺市HP 堺東駅前広場における交流空間の創出に向けた社会実験（ボンジョルノ）の結果報告について
https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/machizukuri/result_buongiorno.html

事例：荒尾駅前における社会実験の結果について

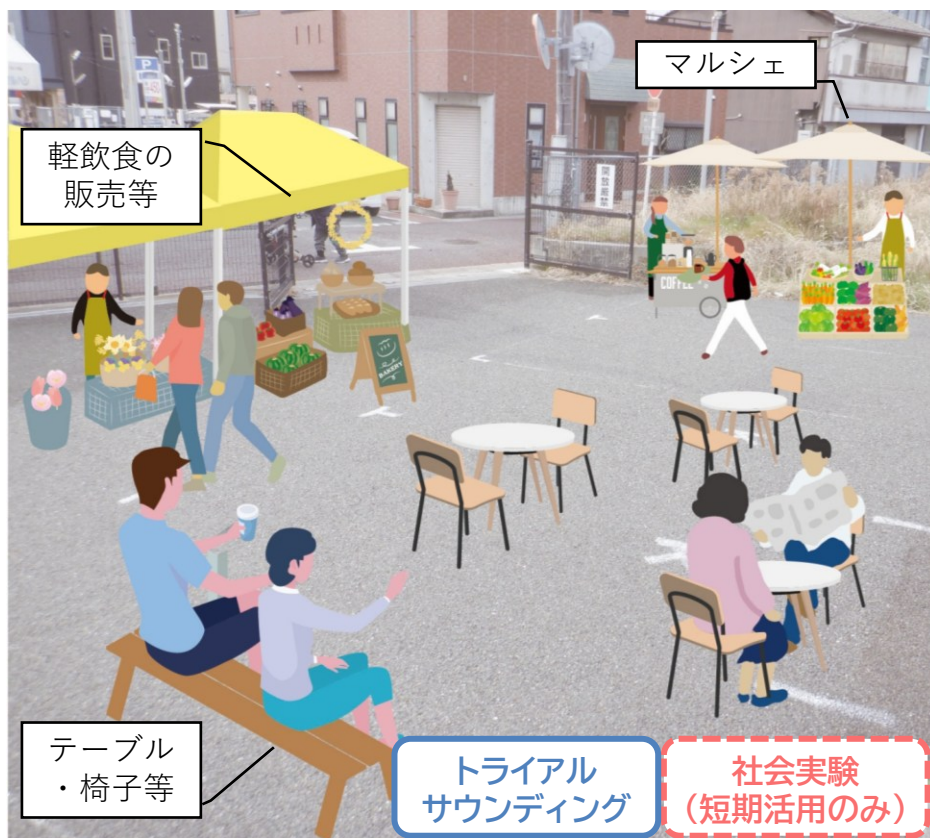
- ・ ロータリーの一部を規制し、実験的に広場として活用
- ・ キッチンカーで食事を買って芝生の上でくつろぎながら食事をする人や、薪割り体験やマシュマロ焼きの実施



出典：荒尾市HP 荒尾駅前における社会実験の結果について
<https://www.city.arao.lg.jp/shisei/machi-zukuri/toshi-keikaku/10390.html>

①柏原駅周辺

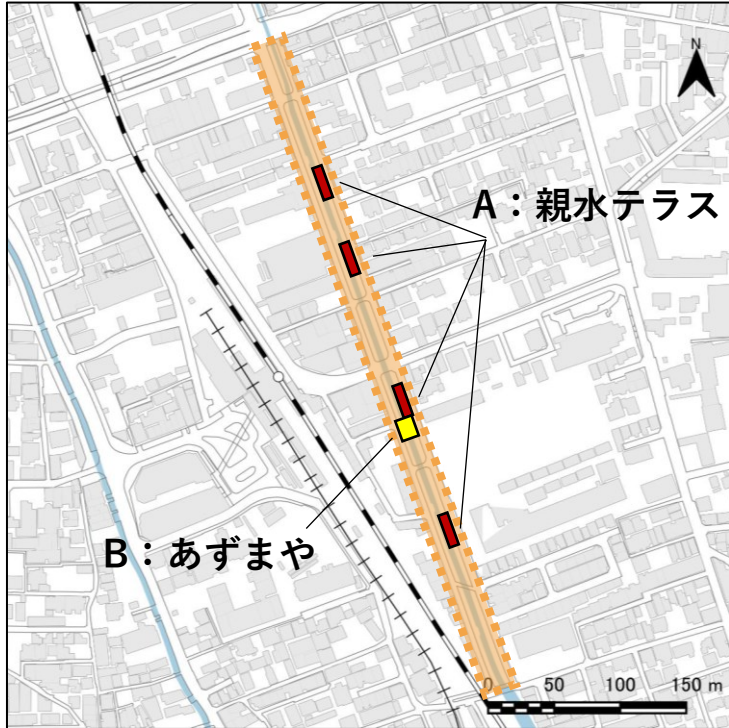
C：柏原駅西口臨時駐輪場



- ・ イベントスペースとしての利活用（季節イベント・チョークアート・焚火イベントなど）
- ・ ベンチやテーブル、芝生などの休養施設の設置
- ・ 夜間活用の試行（ライトアップ・提灯・イルミネーションなど）

■R7年度 社会実験・トライアルサウンディング（案）

②長瀬川・アクアロード



施策	水辺空間の再整備の検討		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 長瀬川の既存施設の改修や歩道における舗装の改修、休憩スポットの設置、柏原市らしい植栽（このてがしわ、つつじ、ぶどう）の設置、長瀬川を一部暗渠化すること等による広場空間の創出を検討します。 		
	自然と共に 時間を使いたい人	色々な場所に行くのが 好きな人	他地域の方と話したい 地元住民
理想の暮らしのイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●季節にあったイベント 	<ul style="list-style-type: none"> ●まちなかアウトドア（川床空間で友人と共にBBQをする） 	<ul style="list-style-type: none"> ●柏原市のイベントを目的とするツアー参加者との交流。アクアロードの近くでフリーマーケットや、小さなお祭りを増やして観光強化週間にする。

WS
の
意
見

- ・ホテルが生息するような川にする
- ・コイ（錦鯉）に餌を与えたり鑑賞できる親水空間づくり
- ・キッチンカー・屋台・カフェなどの飲食スペース（夜はお酒も）
学生が出店して経営を学べる実践学習の場の提供
- ・季節に合わせたイベントの開催（灯籠流し、リバーサイドフェス、盆踊りなど）
- ・長瀬川の一部を暗渠化し、市民のいこいの広場として整備
- ・親水テラスの歩道側の壁面に壁面メンテナンスを兼ねた学生参加型の絵を描くイベント開催
- ・関係人口を増やすための仕掛けづくり

■R7年度 社会実験・トライアルサウンディング（案）

項目	内容
目的 何のために 行うか	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺空間を「通る道から滞在できる場所」へと転換する可能性を探る ・自然・文化・交流が共存した空間の創出に向けた活用ニーズや課題を明らかにする
方向性 社会実験で 目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者中心の空間構成を試行ことで、「水辺と共に楽しめる歩行空間・滞在空間」へ再構築することをめざす ・イベントの開催や活用に必要な施設設備などを通じて、多世代が関わる環境づくりを行う
想定する 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ・照明・植栽の設置 ・季節イベント（例：夏の灯籠・冬のライトアップなど）の開催 ・一部エリアの「にぎわい広場」化の実験 ・民間との連携で屋外席・仮設ショップなどの導入検討 ・地元学生によるカフェ等の出店や壁画イベントの開催
検証方法	<p>[定量的手法]</p> <p>①滞在人数・滞在時間の記録（人流アナリティクスによる解析）</p> <p>[定性的手法]</p> <p>②アンケート（紙やQRコード）による（来訪目的、滞在満足度、改善要望）</p> <p>③利用者の行動観察（立ち止まり／着席など）</p> <p>④運営団体や出店事業者へのヒアリング</p> <p>⑤行政手続き・設営管理の課題整理</p>
検証後の 活用方法	<p>①②定期イベントとの連携を含む地域活性化の拠点の可能性や柏原市の観光資源としての活用の検討</p> <p>①②③「駅→アクアロード」への回遊導線を確認し、歩行者優先の空間へ転換するための検討</p> <p>④⑤管理・運営の仕組みの構築による地域と共に使い続けられる公共空間の検討</p>

②長瀬川・アクアロード

A：親水テラス



B：あずまや



事例：水辺の通りの再整備

■広瀬川河畔緑地の新たな使い方に関する社会実験

〈カウンター〉



〈芝生〉



■馬場川通りアーバンデザインプロジェクト馬場川パーク社会実験

〈テラス〉

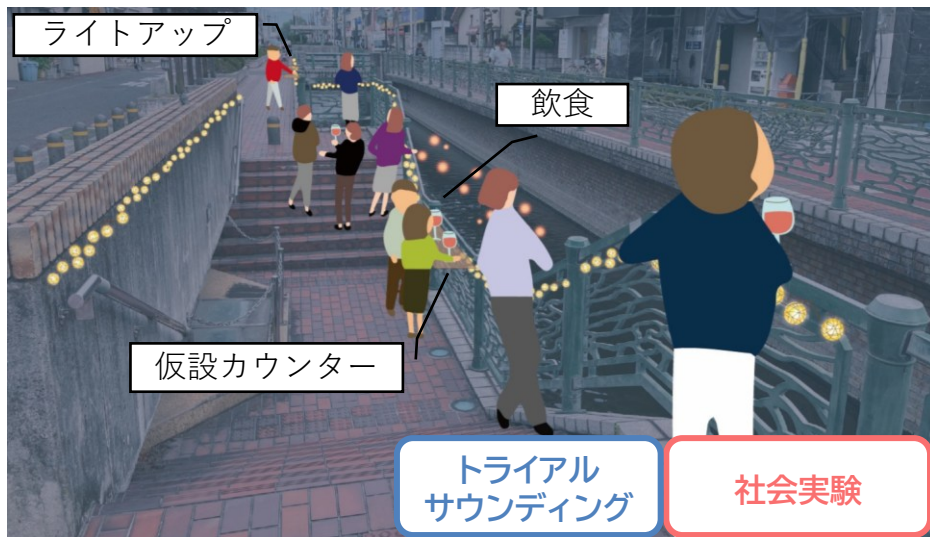


〈ステージ〉



②長瀬川・アクアロード

A：親水テラス



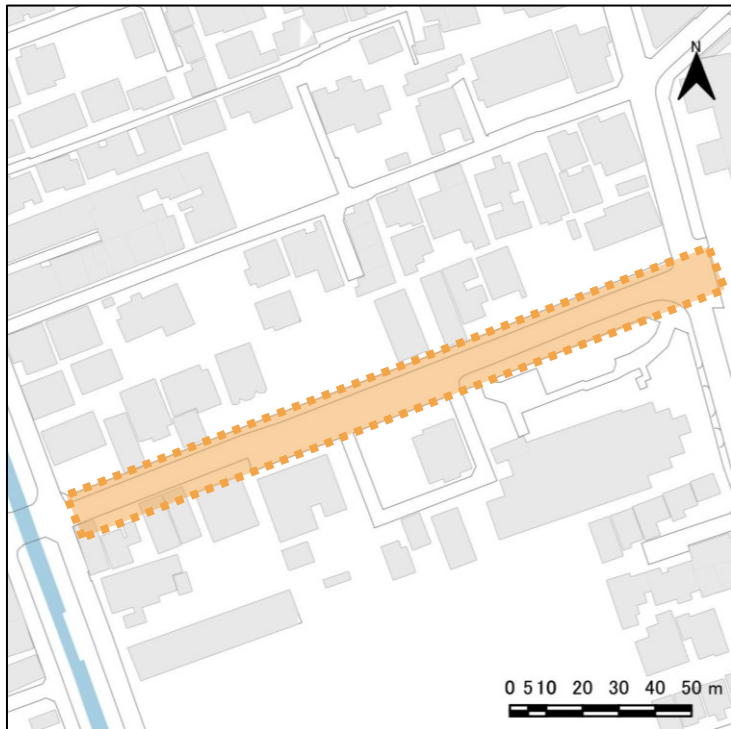
B：あずまや



- ・ベンチ・照明・植栽の設置
- ・季節イベントの開催
(例：夏の灯籠・冬のライトアップなど)
- ・一部エリアの「にぎわい広場」化の実験
- ・民間との連携で屋外席・仮設ショップなどの導入検討
- ・地元学生によるカフェ等の出店や壁画イベントの開催

■R7年度 社会実験・トライアルサウンディング（案）

③（都） 柏原駅東線等の道路空間



施策

（都） 柏原駅東線の整備の推進

概要

- ・地域の利便性、活性化及び災害に強いまちづくりを行うため、JR柏原駅東側の交通広場を含むアクセス道路の整備を推進します。
- ・将来的に多様な主体が休養施設の設置・管理等を行えるよう、柔軟な利活用を可能とする歩行者空間の整備を進めます。

便利でおしゃれでキラキラしたまち

街中でコミュニティのベンチ

理想の暮らしのシーン

- 学生の頃の街並みとは激変していて、駅前がおしゃれで若い人が多い、JRと近鉄を結ぶ道路が雨でも歩きやすく、子供を安心して遊ばせてもらえる公園があり、お店もたくさんできていて驚いた！
- 歩行者優先（一方通行化）



- 仕事帰りに公園で飲みたい（ビアガーデンで賑わっている）
- 知らない人と気軽に話ができる



WS
の
意
見

- ・キッチンカー・屋台・マルシェの開催によるにぎわい創出
ルールづくり・募集・運用の仕組みづくりが必要
- ・駅前通りをにぎわいのあるスペースにするため、JR柏原駅前～上市公園をつなぐ「歩いて楽しい空間」へ
平日と週末で異なる空間の使い方を検討
- ・歩行者天国の再現
毎月1のつく日に開催／夜店・キッチンカーの導入
- ・イルミネーションの設置・夜間の演出強化
ホットワインの提供など
- ・車線制限による歩道拡幅や、道路の一方通行化を行い、沿道にお店を出す
JR柏原駅前～上市公園の一部を試行的に活用し、今後の可能性を検証

■R7年度 社会実験・トライアルサウンディング（案）

項目	内容
目的 何のために 行うか	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR柏原駅東側を歩行者中心のにぎわい創出のため、空間の活用の可能性を検証する
方向性 社会実験で 目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏原駅～堅下駅間を軸とした歩行者空間の魅力向上（通勤・通学・回遊動線の充実） ・ 通行量の多い通りを活かし、平日と週末で異なる使い方を試行する ・ 公園や駅など周辺拠点と連動した、地域のメインストリートとしての再構築を図る
想定する 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ キッチンカー・マルシェ・屋台によるにぎわいの創出（民間事業者との連携） ・ 車の一方通行化や週末限定の歩行者天国による沿道利活用の試行 ・ 夜店（ホットワイン等）やイルミネーションの演出等による夜間活用の試行 ・ ベンチなど空間の居心地向上につながる仮設施設の導入 ・ 駅前と上市公園を両極とした回遊性ある空間の演出
検証方法	<p>[定量的手法]</p> <p>①滞在人数・滞在時間の記録（人流アナリティクスによる解析）</p> <p>[定性的手法]</p> <p>②アンケート（紙やQRコード）による（来訪目的、滞在満足度、改善要望）</p> <p>③利用者の行動観察（立ち止まり／着席など）</p> <p>④運営団体や出店事業者へのヒアリング</p> <p>⑤行政手続き・設営管理の課題整理</p>
検証後の 活用方法	<p>①②③④将来的なJR柏原駅東側の交通広場や（都）柏原駅東線の整備計画への反映</p> <p>①②平日／週末・昼／夜での空間活用イメージの検討</p> <p>④⑤出店制度やルールづくりを進め、地域の事業者・市民と協働した運営の仕組みづくりの構築</p> <p>①②⑤JR柏原駅～上市公園をつなぐ通りとして、まちの顔となる公共空間の定着化に向けた方策の検討</p>

③（都） 柏原駅東線等の道路空間

事例：滞在型道路空間の活用実験

■船場シェアスペースプロジェクト（大阪市）

- ・簡易歩車分離施設によるシェアスペースの社会実験を実施
- 車両通行幅員3.0m及び路肩を0.5m確保し、残りの空間をイベント空間として占用、活用するシェアスペース社会実験を実施。



①道路空間の利活用

- 車両通行幅員3.0m及び路肩を0.5m確保し、残りの空間をイベント空間として占用、活用。
- 主には、沿道店舗によるオープンカフェやマルシェ、アートを設置。

②民地(公開空地)の利活用

- 公開空地において、賑わいを創出するイベントを実施
- 主にはキッチンカーの設置、ワークショップの開催、音楽・パフォーマンスによる賑わいの創出。
- 民地内を通行帯として利用

実施体制	【実施主体】 船場博覧会実行委員会・船場倶楽部 【占用主体】 大阪市中央区役所
実施場所	(道路)三休橋筋～中橋筋間/中橋筋～難波橋筋間の2街区 / (公開空地)三井ガーデンホテル前
実施期間	2021年11月18日(木)・19日(金)・20日(土) 3日間 [イベント実施時間] 平日11:00～20:00 / 休日10:00～20:00

出典：船場倶楽部三好正人（大阪ガス株式会社エナジーソリューション事業部）資料 船場シェアスペースプロジェクト

<https://kandoken.jp/cms/wp-content/uploads/2023/08/E2%89%AA%E5%84%AA%E7%A7%80%E7%A0%94%E7%A9%B6%E8%B3%9E%E2%89%AB%E3%80%BC%E8%B8%B9%E5%A0%B4%E3%82%B7%E3%82%A7%E3%82%A2%E3%83%89%E3%82%B9%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%AF%E3%83%88%E3%80%8D.pdf>

■馬場川通りアーバンデザインプロジェクト馬場川パーク社会実験（前橋市）

- ・馬場川通りを一部車両規制して歩行空間の高質化を検証する「馬場川パーク」を実施



出典：都市再生推進法人（一社）前橋デザイン委員会HP 馬場川通りアーバンデザインプロジェクト馬場川パーク社会実験

<https://www.maebashidc.jp/E9%A6%AC%E5%A0%B4%E5%B7%9D%E3%83%91%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%83%88%E7%A4%BE%E4%B4%9A%E5%A9%9F%E9%A8%93%E3%82%92%E9%96%8B%E5%82%AC%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F%E3%80%82/>

・通過交通を抑制したオープンストリート化の社会実験を実施

- 沿道利用以外の通過車両を規制し、**コモンプレイスとして道路空間と、民地(船場後退部・公開空地)の活用**を行う社会実験。
- 歩きたくなる居心地の良いまちなかのあり方の検証とともに、**民間主体による道路空間のマネジメント**の課題を把握することを目的として実施。



①道路空間の利活用

- 車両通行幅員4.0mを確保し、残りの空間を利活用空間として占用、活用。
- 区間入口に可動式の柵を設置し、沿道関係の車両及びバイクのみ通行*を促す(区間内は8キロなどの速度制限を設ける)。
※ホテル宿泊者、区域内事務所車両、ホテル・飲食店への運搬車、緊急車両
- 車道通行以外の空間に簡易なテーブルセット等を配置。

②民地(公開空地)の利活用

- 公開空地において、賑わいを創出するイベントを実施
- 主にはキッチンカーやマルシェの設置や音楽・パフォーマンスにより賑わいを創出。

③（都） 柏原駅東線等の道路空間

（都） 柏原駅東線等の一部道路空間活用の想定場所

- ・キッチンカー・マルシェ・屋台によるにぎわいの創出（民間事業者との連携）
- ・車の一方通行化や週末限定の歩行者天国による沿道利活用の試行

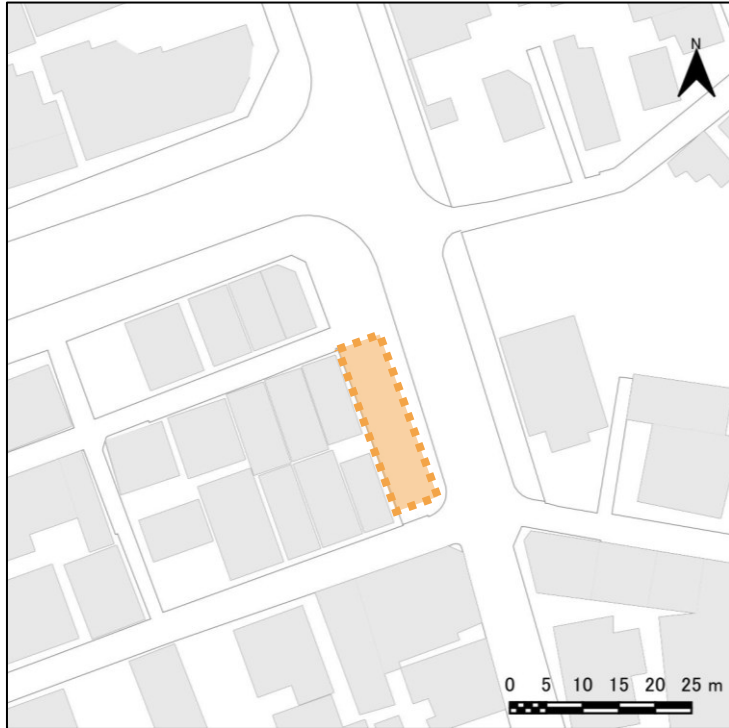


- ・ベンチなど空間の居心地向上につながる仮設施設の導入
- ・駅前と上市公園を両極とした回遊性ある空間の演出

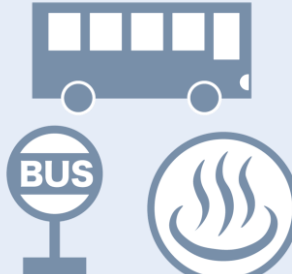



■R7年度 社会実験・トライアルサウンディング（案）

④（市） 上市法善寺線歩道



施策	(都) 法善寺築留線 ((市) 上市法善寺線) の整備の推進
概要	・ 柏原市地域防災計画における医療救護活動の拠点となる市立柏原病院、指定避難所となる柏原東小学校と柏原市民文化センターへの緊急交通路である上市法善寺線の整備を促進し、地域の安全性向上を図ります。

	利便性の良い街	空きスペースを有効活用したにぎわいのあるまち	物を大切に (子育て中の人)
理想の暮らしのシミュレーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 柏原中央温泉の隣の道バス停があり、八尾市に向かうバスが通っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 商店街などの空き家を利用して、バーチャル体験 (スポーツ観戦) が行える場所があり、休日や仕事帰りに利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育てタクシーがあり、習い事教室に行く子どもがいたら、その道中に何人か近場の目的地の人も乗り合って利用できるような仕組み。安全に利用できるように、事前登録が必要。 ● 場所を各々設定し、服や物など交換する仕組み。こどもの服はすぐにサイズが変わるため、物々交換できる。

WSの意見

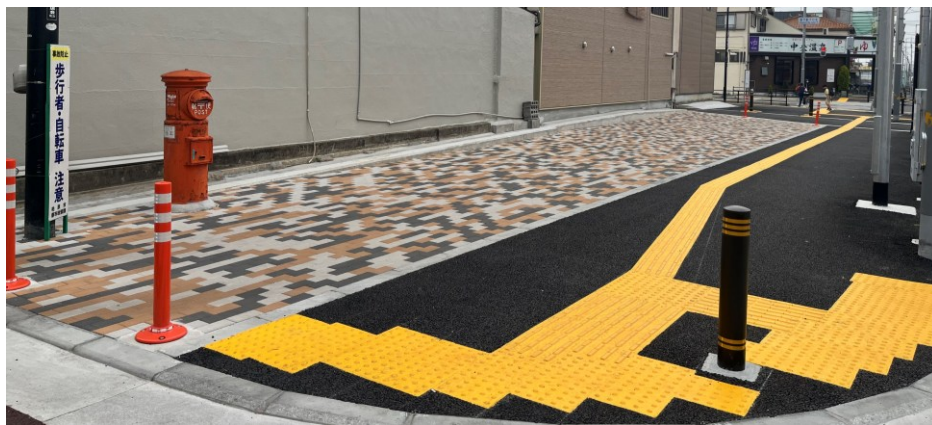
- ・ 漫才・ダンスなどができるステージの設置
- ・ マンホールトイレ (洋式) の整備
- ・ 大阪・関西万博の「大屋根リング」を再利用して何か作製する。
- ・ キッチンカーやカフェなどの出店によるにぎわいの創出

■R7年度 社会実験・トライアルサウンディング（案）

項目	内容
目的 何のために 行うか	<ul style="list-style-type: none"> ・通学・通勤・災害時に対応した安全で快適な通行空間を設けつつ、商店街と連携した滞在・交流のある歩行者空間の活用の可能性を探る
方向性 社会実験で 目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・一部拡幅済み歩道を活かして、日常と非日常（イベント）を両立できる道路空間の利用を試行 ・通学路の安全性と快適性の向上を意識しつつ、にぎわいや文化発信の場としての活用を探る ・将来的には、民間も活用可能な柔軟で開かれた公共空間への転換を見据える
想定する 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・キッチンカー・屋台・カフェなどの商店街と連携した商業機能によるにぎわいの創出 ・ステージ設置（漫才・ダンスなど地域イベントの実施） ・ベンチやテーブル、植栽による休憩スポットの提供
検証方法	<p>[定量的手法]</p> <p>①滞在人数・滞在時間の記録（人流アナリティクスによる解析）</p> <p>[定性的手法]</p> <p>②アンケート（紙やQRコード）による（来訪目的、滞在満足度、改善要望）</p> <p>③利用者の行動観察（立ち止まり／着席など）</p> <p>④出店者・ステージ参加者など関係者へのヒアリング</p> <p>⑤行政手続き・設営管理の課題整理</p>
検証後の 活用方法	<p>①②歩道拡幅整備や安全対策の具体化に向けた整備推進の検討</p> <p>④⑤出店制度やルールづくりを進め、地域の事業者・市民と協働した運営の仕組みづくりの検討</p> <p>①②④⑤常設の休憩スペースやイベントスペースの整備の検討</p> <p>②③⑤通勤・通学のついでに立ち寄れる、日常的に使われる公共空間のあり方の検討</p>

④（市） 上市法善寺線歩道

（市） 上市法善寺線歩道



事例：屋外歩道空間の社会実験

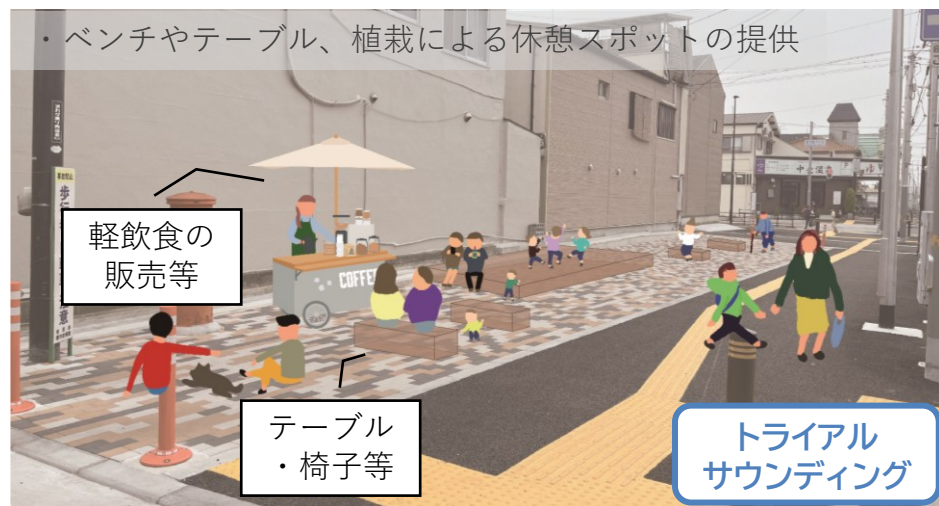
- ・東京・大手町の歩行者専用道路「大手町川端緑道」の未来の空間活用を見据えた、神田と大手町を繋ぐ場所として“外空間”の居方を検証する社会実験として企画
- ・期間中は、神田の店舗が大手町に出張出店したり、子どもの遊び場、芝生広場や屋外ライブラリー、ワークスペース等の空間を展開し、キッチンカーやマルシェ、音楽ライブ等を多数実施した



出典：合同会社HOC <https://hoc-co-jp.studio.site/project%2044>



- ・キッチンカー・屋台・カフェなどの商店街と連携した商業機能によるにぎわいの創出
- ・ステージ設置（漫才・ダンスなど地域イベントの実施）



- ・ベンチやテーブル、植栽による休憩スポットの提供